

タイダルストリーム フィッシュハンター IPK365-DC 組み立て・取扱説明書

梱包内容

箱 1

- ①カヤック (SUP) 本体
- ②収納バッグ
- ③パドル1セット + サップ用シャフト
- ④ポンプ
- ⑤リペアキット (補修生地・バルブレンチ)
- ⑥スケグフィン (センター、サイド×2)
- SUP として使用するときのみ装着します。
- ⑦サップ用リーシュコード



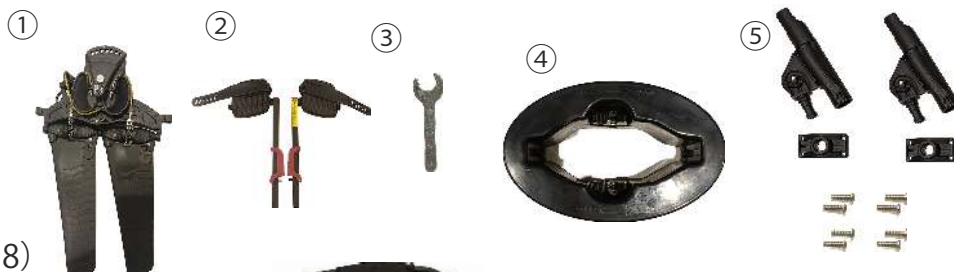
その他

プラスドライバー、手袋は別途ご用意ください。



箱 2

- ①フィンドライブ本体
- ②ペダルアッセンブリ 1組
- ③スパナ
- ④ドライブポッド
- ⑤ロッドホルダーセット
(本体×2・マウント×2・ネジ×8)



- ⑥シート + ノブネジ×4
- ⑦シート用レール×2
- ⑧四角ナット×4



- ⑨ステアリングアッセンブリ (ハンドル・ワイヤ・フック)
- ⑩ラダーベースアッセンブリ (マウント・ノブボルト×4)
- ⑪ラダーアッセンブリー (ラダー・ノブ・ロープ)
- ⑫ノブボルト予備×4



ステップ1 | 空気注入とドライブポッドの取り付け

1. フロアボードにドライブポッドを入れる

「CLOSE」の文字を前方してドライブポッドをフロアボードに入れます。入れにくい場合は裏返しにしてフロアボードを上から押すようにすると入れやすくなります。



2. フロアボードにシート用レール2本をセットする

- ①レールに四角ナットを2個挿入します。
- ②次にレールを片方のブラケットに差し込みます。次に反対側のブラケットに入れます。入れにくい場合は付属のスパナなどをガイドにしてレールを押し込むようにすると入れやすくなります。



3. フロアボードのベースにスクエアマウントを取り付ける

付属のネジで留めます。※必ず付属のネジを使用してください。



スクエアマウントを付けずにネジを入れるとベースを貫通して本体に穴が開きます。

ステップ2 | 本体の組み立て

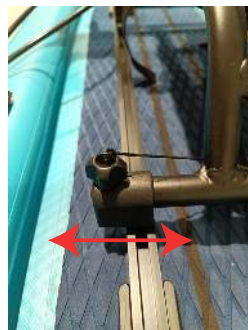
1. カヤック本体の空気注入

- ①ドライブポッドが真っすぐになっていることを確認します。
- ②フロアボード・デッキの順番で空気を入れます。



2. シートの取り付け

- ①シート右前部にステアリングを取り付けます。ネジで固定します。
- ②シートをレールに入っている四角ナットにノブボルトで仮止めします。シート調整後にノブボルトを締めて固定します。



※シートのブラケットをスライドさせてレール幅に合わせます。

3. ラダーベースアセンブリの取り付け

- ①ワイヤーチューブをラダーベースに取り付けます。
※ナット・ベース・ワッシャー・ばね座金・蝶ナットの並びで付けます。
- ②ベースを本体にノブボルトで取り付けます。
※ノブボルトを締めるときに蝶ナットが干渉する場合は蝶ナットを少し緩め直角位置にします。

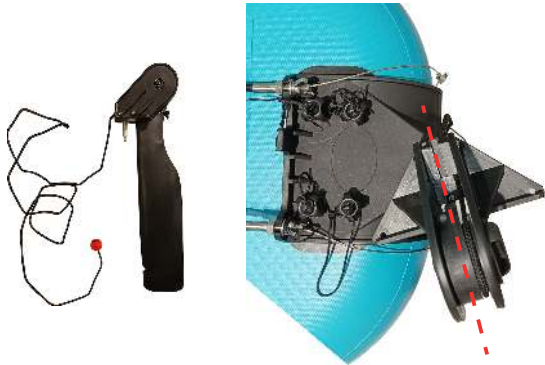


ステップ3 | ラダーの取り付け

1. ラダーブレードの取り付け

ラダーを少し左に向けて、先の方が半月状になっているラダーシャフトを軸受けの突起ピンをかわすように差し込みます。

少し左に向けます



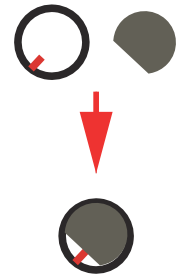
ラダーシャフトの先の方が半月状になっています



軸受けに突起ピンが出ています



軸受けの突起ピンとラダーシャフト半月に欠けている部分を赤いピンにあわせ入れ込む



2. ラダーワイヤーの取り付け

- ①左右のワイヤーフックをラダーに取り付けます。
- ②ステアリングを真っすぐにした状態でラダーブレードが真っすぐになるように左右のワイヤーの長さを調整します。※ワイヤーアジャスタから出ているワイヤーを引っ張ると手ワイヤーが張り、アジャスタの内側のスリーブを押し込むと緩みます。アジャスタの内側のスリーブ



3. ラダーアップラインの取り付け

- ①ラダーアップラインをシート右後部にあるクリートに後ろから入れます。
- ②ラインに赤い球を入れ八の字結びで留めます。



ステップ3 | ドライブの組み立て・装着

1. ペダルクランクの取り付け

- ①クランクボルトを外します。クランクのレバーを押し込み、ピンを引っ込めドラムに差し込みます。
- ②ボルトをしっかり締めます。

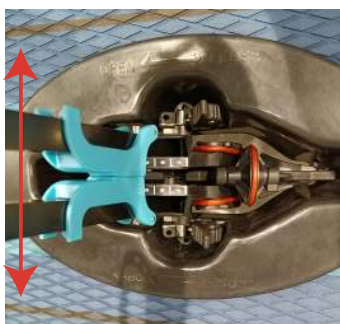


2. ドライブの装着方法

※実際に海で使用するときはパドルで漕いで沖まで行ってから装着してください。
浅瀬で到着すると底にあたってドライブが破損します。

- ①ドライブをドライブポッドに差し込みます。
 - ②奥まで確実に差し込むと自動でロックされます。
- ※最初の内はかたくて奥まで入りにくい場合があります。ペダルクランクを握って左右に揺らしながら力を入れると押し下げることができます。また、奥まで入っても自動でロックがかからないときは手でロックレバーを前に倒し手動でロックします。

固いときは左右に揺らす



ロックレバー



ロックレバー



ロック板

3. 全体図

カメラ用マウント
1/4 インチネジ用

